

2008年3月18日

各位

株式会社オリエントコーポレーション
株式会社クレディセゾン
ユーシーカード株式会社
株式会社キュービタス

オリコ、クレディセゾン、キュービタスによる 新オーソリシステム稼働開始

株式会社オリエントコーポレーション（代表取締役社長 西田宜正 以下：オリコ）、株式会社クレディセゾン（代表取締役社長 林野宏 以下：クレディセゾン）、及びユーシーカード株式会社（代表取締役社長 井上誠一郎）の子会社である株式会社キュービタス（代表取締役社長 梶野恭輔 以下：キュービタス）（併せて以下：3社）は、2008年3月より新オーソリシステム（名称「AURORA(オーロラ)」）の稼働を開始いたします。これは、信販系・流通系・銀行系を代表する3社が「ローコストオペレーションの実現」、「会員・加盟店・受託先に提供する機能・サービスの向上」を目指し構築を推進している次期共同システム（新基幹システム+新オーソリシステム）の第一弾としてリリースするもので、主な特長は以下のとおりです。（詳細別紙）

※オーソリ：カード利用者の信用承認を行うこと。オーソリゼーション(Authorization)の略。

- オリコブランド・セゾンブランド・UCブランドを集中処理する日本最大級の業量を誇る業界初のオーソリ共同化システムであり、利用クレジットカード会社は、投資抑制・コスト削減といったメリットを享受できること。
- 3社のノウハウを集約することで、クレジットカードやハウスカード等の会員番号体系にとられない管理が可能となるほか、マルチブランド(VISA・MasterCard・JCB・AMERICAN EXPRESS)への対応、各種情報処理センターや国際ブランドとのネットワーク接続が可能となり、多数のカード会社が利用しやすいこと。
- FEP（フロントエンドプロセッサ）を含むオーソリシステムインフラの2センター化による最高水準の安全性・耐障害性・耐災害性を実現していること。

なお、新オーソリシステム「AURORA（オーロラ）」は、NTTデータに委託して開発いたしました。今後の運用についても、2004年1月より稼働している共同FEPシステム同様、同社に委託いたします。

総合プロセッシングサービスを担うキュービタスは、2008年4月にクレディセゾンのプロセッシング事業部門を統合、セゾンブランド・UCブランドの業務・システムの集約を進めるとともに、新オーソリシステム「AURORA(オーロラ)」稼働を契機に、オリコと広範な共同化の検討を進めて参ります。これにより、3社の更なるコスト削減が可能となります。また、キュービタスは、「質量ともにNo.1の総合プロセッシングカンパニー」として、3社のみならず、あらゆるクレジットカード事業者に日本最高水準の品質と価格競争力を持つプロセッシングサービスを提供してまいります。

以上

《本件に関するお問合せ先》

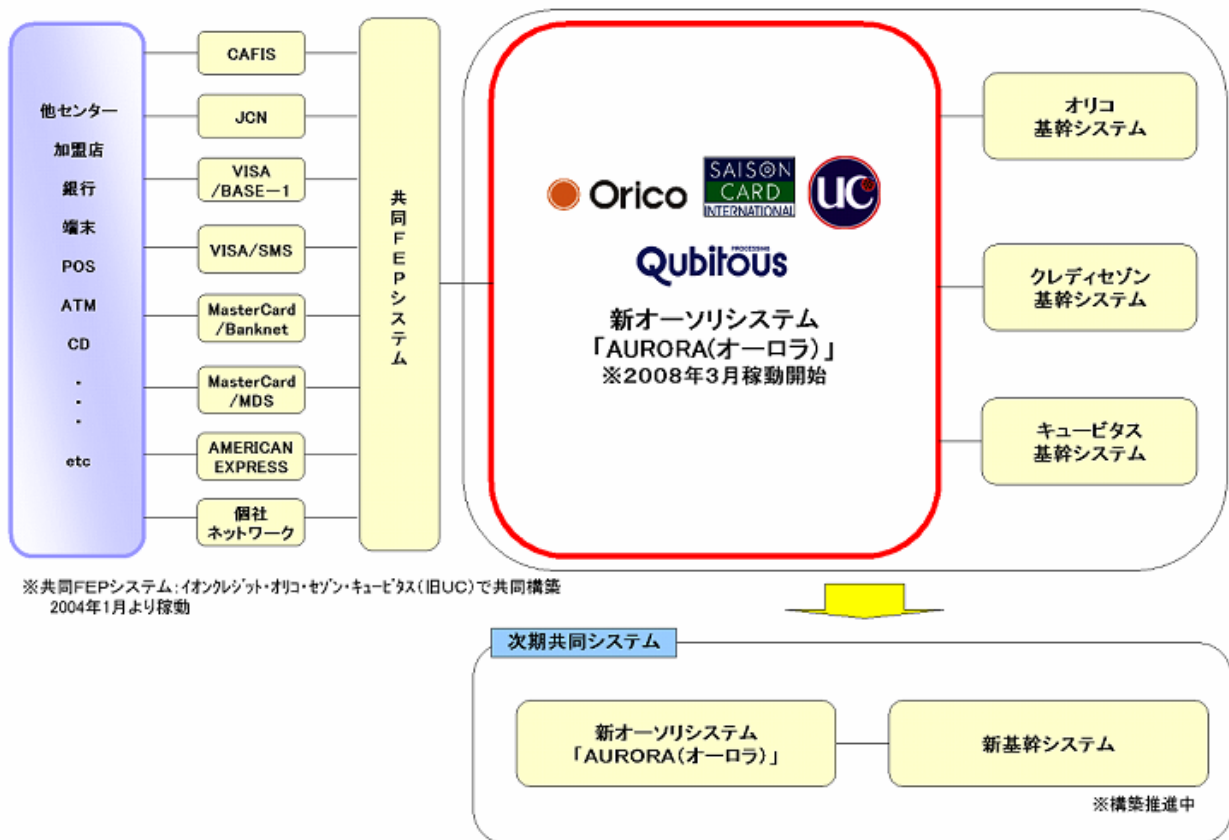
◇株式会社オリエントコーポレーション	広報・宣伝部	03-5877-5071
◇株式会社クレディセゾン	広報室	03-3982-0700
◇ユーシーカード株式会社	経営企画部	03-5531-6325
◇株式会社キュービタス	企画部	03-5531-6325

新オーソリシステムの概要 ※下図：赤枠

1. 名称 **AURORA** (オーロラ)

《由来》ローマ神話の暁の神の名前で、知性の光・創造性の光が到来する時のシンボルとして用いられることから、今回の新オーソリシステムのリリースにおいても、次期共同システムの第一弾として今後の明るい未来を想起させるとし、「AURORA」とした。

2. 概要図



3. システムの特徴

(1) プロセッシングコストの削減

- ・ ファシリティ、センター設備、ハードウェア、運用オペレーションを共用することにより設備コスト、運用コストを削減
- ・ 業務仕様を最大限共通化することによりソフトウェア開発、維持コストを削減

(2) 業務ノウハウの集約

- ・ 信販系、流通系、銀行系の特徴を集約した汎用性のある業務仕様を実装
- ・ 汎用性のある業務仕様とすることで、クレジット関連各社からの要望に幅広く応えられるシステム基盤を確立

(3) 拡張性・継続性

- ・ 24時間365日ノンストップマシンを使用
- ・ 最新鋭のノンストップマシンを採用することで、高い拡張性、継続性を有する
- ・ 大容量マシンのため、取扱規模増大に応じた機能拡張にも十分対応可能

(4)堅牢性

- ・ 最高水準の安全性・耐障害性・耐災害性を実現
 - ◆ 基幹システムと切り離し別センター化することで、基幹システムの障害時・災害時であっても、オーソリシステム（共同 FEP システム含）のみでの単独稼動が可能
 - ◆ メインセンターのほかに、災害対策用のセンターを設置
 - ◆ 回線を複数キャリア接続とし、回線機器についても全て 2 重化構成
- ・ FISC（財団法人金融情報システムセンター）の安全対策基準に対応

(5)主な機能特性

- ・ VISA、MasterCard、AMERICAN EXPRESS、CAFIS、JCN 等の主要なネットワークのオーソリ処理が可能
- ・ IC フルオーソリ機能を標準装備
- ・ 3D セキュア認証機能を標準装備

以上